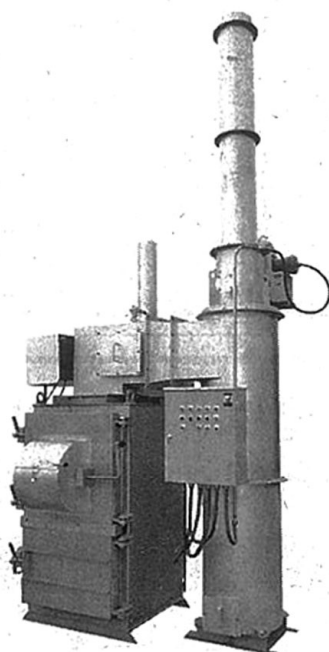


廃プラ対応焼却炉2機種を開発

DAITO 紙・木くず向けと同時発売

廃プラ対応焼却炉「ISRRモデル」



小型焼却炉の製造・販売を手掛けるDAITO(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長、☎0561・21・3111)はこのほど、廃プラ対応の「ISRRモデル」と「SPRモデル」、紙・木くず向けの「AGZRモデル」を同時発売した。前者の2機種は、高まる廃プラ処理へのニーズを受けてラ

インアップに加えた。3機種とも、初年度は20台の販売を目指す。ISRRモデルは水冷式で、廃プラを長時間にわたり安定的に燃焼できるのが特徴。一方のSPRモデルは耐火材式だ。いずれもロストル(火格子)を装備することで、高い燃焼効率を実現。投入口を大型にし、かさばる廃

プラも楽に投入できるようにした。

AGZRモデルは耐火レンガ式で、ロングセラーとなっている「AGZIIモデル」の後継として、操作性と安全性を向上させたもの。大型ごみに対応する他、サイクロン集じん機能により、消煙・集じん能力を高めている。

また3機種の構造は、各種法規制に適合。「一部地域を除き、行政への届け出や許可の必要はなく、すぐに設置できる。万が一行政から指導があった場合は、当社が責任を負う

構造基準適合保証を付けている」とする。さらに、中小企業経営強化税制の適用も可能だ。

主な機種の仕様は、

▽ISRR-500J II
焼却能力は1時間当たり29キログラム(紙・木くずの発熱量で算出)。外寸は高さ3400×幅2020×奥行2100ミリで、標準価格は568万円(税抜き)

▽AGZR-900J II
焼却能力は1時間当たり49キログラム(同)。外寸は高さ3010×幅1750×奥行1740ミリで、標準価格は328万円(税抜き)となっている。